

# はにい

## まってあげようね

平成26年7月28日

休み時間が終わって、2年生が教室に戻ってきました。  
走ってきた子もいて、教室の中がざわついています。

先生は、前にすわってみんなを見渡しました。そして、何も言わずに手を挙げます。

先生が手を挙げたのに気付いた子は、自分も黙って手を挙げます。先生の周りの子から、挙げる手が広がっていきました。少し待っていると、すぐに全員が気づき、全員の手が上がると、静かな教室になりました。



「これから、道徳の授業を始めます。今日は、お話をします」

先生は、自分で描いてきた絵を貼りました。そして本もノートも、何も見ないで、ゆっくり、一人ひとりに語りかけるように、お話をしました。

授業での発言は、まだ2年生、ことばを探しながら、ゆっくり話します。  
子どもたちは、その子が言い終わるまで、その子の顔を見て話を聞いていました。

この教室の前の壁には掲示物がほとんどありません。  
黒板の上の真ん中に、小さな掲示物がひとつあるだけです。

そこには、  
「まってあげようね」  
と書いてありました。



『はにい』はコミュニケーションツールです。みんなで語り合しましょう。  
ご意見・ご感想は → [inochi4027@pref.kanagawa.jp](mailto:inochi4027@pref.kanagawa.jp)